

新刊図書案内

表 題	編 著 者	出 版 者	出版年月	定 価	ISBN	備 考
南極に暮らす： 日本女性初の越冬体験	坂野井和代 東野陽子	岩波書店	2000.07	¥1,900	4-00-001552-4	
気象年鑑：2000年版	日本気象協会	大蔵省印刷局	2000.08	¥3,280	4-17-160200-9	監修：気象庁
雨のことば辞典	倉嶋 厚	講談社	2000.09	¥1,500	4-06-210319-2	
科学技術と英大辞典	富井 篤	オーム社	2000.09	¥15,000	4-274-02437-7	99年刊の第2版のコンパクト版
気象と音楽と詩	股野宏志	成山堂書店	2000.09	¥1,600	4-425-55051-X	気象ブックス005
気象のしくみ	饒村 曜	日本実業出版社	2000.09	¥1,400	4-534-03132-7	入門ビジュアルサイエンス
局地風のいろいろ	荒川正一	成山堂書店	2000.09	¥1,600	4-425-55041-2	気象ブックス004
雲と雨の気象学	水野 量	朝倉書店	2000.09	¥4,200	4-254-16703-2	応用気象学シリーズ 3
災害時気象速報：平成12年台風第14号と前線による9月11日から12日にかけての大雨	東京管区気象台	東京管区気象台	2000.09	非売品 閲覧可		東京管区気象台 気候・調査課 Tel. 03-3212-3840 気象庁図書資料管理室 Tel. 03-3212-8341 内2249
最新天気予報の技術： 気象予報士をめざす人に	天気予報技術研究会 新田 尚 立平良三	東京堂出版	2000.09	¥2,800	4-490-20413-2	94年刊の改訂版
大気環境学： 地球の気象環境と生物環境	真木太一	朝倉書店	2000.09	¥3,900	4-254-18006-3	
平成12年度季節予報研修テキスト： 力学的季節予報（3か月予報、暖・寒候期予報）の開始に向けて	気象庁	気象業務支援センター	2000.09	¥1,440		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443 e-mail： tosyo@jmbc.or.jp URL： http://www.jmbc.or.jp/ 来世紀初頭にかけての力学的季節予報を展望
異常気象	保坂直紀	ナツメ社	2000.10	¥1,200	4-8163-2861-0	監修：植田宏昭
海洋物理学概論	関根義彦	成山堂書店	2000.10	¥2,000	4-425-53044-6	98年刊に続く3訂版
地球・46億年の孤独： ガイア仮説を超えて	松井孝典	徳間書店	2000.10	¥590	4-19-891395-1	徳間文庫
登山者のための観天望気： ことわざを知って山の天気をズバリ当てる	城所邦夫	山と溪谷社	2000.10	¥950	4-635-04315-0	NEW YAMA BOOKS 15
中谷宇吉郎集第1巻： 先生を囲む話	中谷宇吉郎	岩波書店	2000.10	¥4,600	4-00-092401-X	編集：樋口敬二 池内 了
平成12年度数値予報研修テキスト+数値予報課報告別冊第47号： 新しい数値解析予報システム	気象庁	気象業務支援センター	2000.10	¥2,200		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443 e-mail： tosyo@jmbc.or.jp URL： http://www.jmbc.or.jp/

注：表中で定価はすべて本体価格です（特記したものを除く）。

編集後記：個人的な事情によりこの秋に引越しをすることになり、いろいろと荷造りをしていると、昔のノートや日記らしきものが出てきました。こういうものは懐かしくてついつい読みふけてしまい、片づけが遅れる原因になってしまいましたが、気になったことが1つありました。それは、自分で書いた文章なのに妙に読みづらいのです。

なぜ読みづらいのかと思って文章を見直してみると、「が」の使用が多いことに気づきました。この「が」は主語を示す「が」ではなく、接続詞の「が」の方です。例えば、「今日の競馬はみんなと一緒に楽しかったが、早く家に帰った。」というもので、前後の文を曖昧につなげています。この例文の場合ですと、書いた本人には競馬が終わったあとみんなと一緒にもっと遅くまで遊びたかったという意識があって使用しているものの、読んでいる人にはそのことがすぐに理解できるとは限りません。

この「が」は意識しないとついついたくさん使用してしまい、意味がとりづらい文章になってしまいます。

特に1つの文で2回も3回も使用して長い文になってしまうと、何を主張したい文なのかわからなくなってしまいます。自分の昔の文章はまさにその通りでした。

仕事の報告書や解説、論文などを書くようになって、わかりやすい文章を書く必要性を感じ、文章の書き方に関する本を数冊読んでみました。接続詞の「が」を使わないというのもそれらの本に書いてあり、それ以来できるだけ意識するようになっています。そのおかげか、自信はいまだに無いものの、昔に比べると少しはましな文章を書くようになった気はします。

「天気」に掲載される論文や記事にとっては、学問的に質が高いかどうかは最も重要であるのはもちろんです。それに加えて、読みやすい文章で書いてあれば、より多くの読者が最新の知識を理解できるようになると思います。時には文章の書き方についても意識してみたいかがでしょうか。（こんな文章を書いておきながら、1か所「が」を使ってしまいました。まだまだ未熟ですね。）

（水野孝則）

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)
編集委員 神沢 博(理事)・関口理郎(理事)
藤部文昭(理事)・石田純一
植田宏昭・小田切さやか
大淵 濟・金田昌樹・川島正行
木下 仁・小出 寛・小司禎教
佐藤晋介・住 明正・関山 剛
田口晶彦・高橋 宙・高山 大
寺坂義幸・中西幹郎・中村 尚
新村典子・板東恭子・別所康太郎
水野孝則・水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 若原勝二・向川 均
東北 小柴 厚・早坂忠裕
関東 河原幹雄・竹内 仁
中部 永尾一平・井上長俊
関西 和田高秀・山中大学
九州 金崎 厚・中島健介
沖縄 仲大安英
編集書記 遠藤和子